

2021年12月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	前々年同月取扱高	前々年同月比
海外旅行	813,259	503,415	161.5%	35,221,085	2.3%
国内旅行	3,462,458	3,156,682	109.6%	3,445,963	100.5%
訪日旅行	7,680	6,578	116.8%	1,925,485	0.4%
合 計	4,283,397	3,666,675	116.7%	40,592,534	10.6%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ 5 社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また、コロナ前と比較するため、前々年比を基準に記載しております。

1. 海外旅行

引き続き、全方面における企画旅行の催行を中止する中、世界各国では新型コロナウイルスの感染力が高い変異株「オミクロン株」による感染が急拡大しており、大幅な減少が続いております。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前々年同月比 2.3%の 8 億 1,325 万円となりました。

2. 国内旅行

国内における新型コロナウイルスの感染状況が減少する中、前月に引き続き、各自治体による県民割適用の拡大もあり、宿泊プランやバスツアーをはじめとする近距離旅行が牽引しました。特に、ホテル取扱数の強化により、ダイナミックパッケージが堅調に推移しております。

コロナ下における HIS の新たな施策として、ワクチン接種済のお客様、又は、PCR 検査で陰性証明をご提示いただいたお客様への割引や、抗原検査キット付きのツアー施策を展開したことで、新たな顧客需要を獲得いたしました。

また、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™との直契約による自社主催ツアーでの送客がさらに増加するなど、国内旅行商材の仕入強化による新規顧客獲得に繋がっております。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比 109.6%、前々年同月比 100.5%の 34 億 6,245 万円となりました。

3. 訪日旅行

前月に引き続き、世界各国におけるオミクロン株の感染拡大が影響し、外国人新規入国の原則停止が継続されたことにより、訪日旅行の総取扱高は、前々年同月比 0.4%の 768 万円となりました。

以上の結果、2022年12月の旅行取扱高の総計は、前年同月比 116.7%、前々年同月比 10.6%の 42 億 8,339 万円となりました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177